

# 教職員の働き方改革について



令和元年10月10日  
教育委員会事務局





# 目次

---

1. 学校における働き方改革に係る国・福島県の取組み …… P1
2. いわき市教育委員会の取組み(まとめ) …… P2
3. 令和元年度における市教育委員会の取組み  
    ～部活動指導員の導入・活用状況について～ …… P3
4.                    //  
    ～出退勤管理システムの導入について～ …… P4
5.                    //  
    ～統合型校務支援システムの導入検討について～ …… P5
6.                    //  
    ～(仮称)いわき市教職員サポートプランについて～ …… P6

# 1. 学校における働き方改革に係る国・福島県の取組み

## 国(文部科学省)

新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について  
(平成31年1月25日 中央教育審議会答申)【別紙資料参照】

### 教員の働き方改革のポイント

- ◆時間外勤務の上限として「**月45時間、年360時間**」の ガイドライン
- ◆「自発的」とされた時間外の授業準備や部活動などの業務を「勤務時間」へ
- ◆繁忙にあわせ年単位で勤務時間を調整し、休日のまとめ取りをする「変形労働時間制」の導入を認める
- ◆教員、学校、地域に係る業務を整理し、担うべき仕事の明確化

### 運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン

(平成30年3月 スポーツ庁)

### 文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン

(平成30年12月 文化庁)

## 福島県

### 教職員の多忙化解消アクションプラン (2018～2020年度)(平成30年2月)

#### 【プランの目的】

教職員が自ら学び、児童生徒と向き合う時間を確保するため、長時間勤務を改善する。それにより、学校のチーム力や教員の指導力を最大化し、豊かな教育環境の形成を目指す。

#### 【プランの数値目標】

- ・ 時間外勤務時間 **1週間あたり11時間以下 (月45時間以下)**
- ・ 業務繁忙期の時間外勤務時間 **1週間あたり20時間以下 (月80時間以下)**
- ・ 計画期間内で時間外勤務時間を30%削減  
(2017年度比で2021年6月の勤務実態調査で達成を目指す)

#### 【運動部活動の在り方に関する方針】(平成30年7月)

- ・ 部活動休養日の設定 **平日週1日及び土日のいずれか週1日以上**
- ・ 練習時間の上限設定 **平日2時間、休日3時間**
- ・ **部活動指導員の配置**

#### 【その他の取組み】

- ・ **統合型校務支援システム等のあり方について検討**・・・令和元年7月10日開催の第3回市町村立学校統合型校務支援システムの在り方検討協議会において、福島県としての**推奨システムを決定**

## 2. いわき市教育委員会の取組み(まとめ)

### 質の高い教育

#### 前年度までの取組み

- 学校閉庁日の設定(8/13~8/16)
- 留守番電話の運用
- いわき市小中学校部活動運営方針の策定

#### 教員が子供たちと向き合う時間の確保

#### 教員が自ら学ぶ時間の確保

#### 部活動指導員の導入・活用

- ◆いわき小中学校部活動運営方針の全面实施(平成31年4月1日~)
- ◆いわき市立中学校部活動指導員設置要綱の策定(平成31年4月1日より)
- ◆部活動指導員の導入(平成31年4月10日~)  
⇒目的:教員の負担軽減と部活動指導の充実

#### 出退勤管理システムの導入・活用

- ◆出退勤管理システムの導入(令和元年6月より導入、7月より全面稼働)
- ◆勤務時間の一元管理⇒教育委員会による指導
- ◆客観的な勤務時間の把握・管理を行い、今後の働き方改革に係る各種施策の効果検証を行う上で、基礎的かつ有用なデータとして活用

#### 統合型校務支援システム

- ◆福島県の推奨システム決定(令和元年7月)を受け、令和3年度からの導入を念頭に、関係部署との調整など所要の対応を行う。
- ◆併せて、安全なネットワーク環境の整備についても検討を行う。

#### (仮称)いわき市教職員サポートプラン

- ◆教職員の働き方改革を推進するにあたり、市教育委員会として各学校に対し、業務改善のための具体的な取組を示すものとして方針を策定するもの。
- ◆令和元年度中に策定予定。

### 3. 令和元年度における市教育委員会の取組み ～部活動指導員の導入・活用状況について～

#### 【いわき小中学校部活動運営方針の策定】（平成31年4月1日より全面实施）

- ◆平日、週休日それぞれについて1日以上の休養日を確保
- ◆部活動1回当たり、原則2時間（休日3時間）を上限とする。
- ◆参加する大会の精選 ……など

#### 【いわき市立中学校部活動指導員設置要綱の策定】（平成31年4月1日～）

#### 【部活動指導員の導入】（平成31年4月10日～）

福島県補助事業の活用（補助率：2/3）

#### 【令和元年度部活動指導員配置状況】

（令和元年7月31日現在）

配置校名	担当部活動	配置数
平第一中学校	合唱部	1名
江名中学校	柔道部	1名
小名浜第二中学校	剣道部	1名
大野中学校	野球部	1名

#### 【令和元年度部活動の設置状況】

区分	部活動数 （全中学校計）	内容
運動部	319 （1校平均：8）	陸上、水泳、軟式野球、ソフトボール、バスケットボール、バレーボール、ソフトテニス、卓球…等

（文化部のデータについては、今後整理を検討）

#### 【顧問教員の超過勤務時間の状況】

（江名中、大野中の平均時間数）

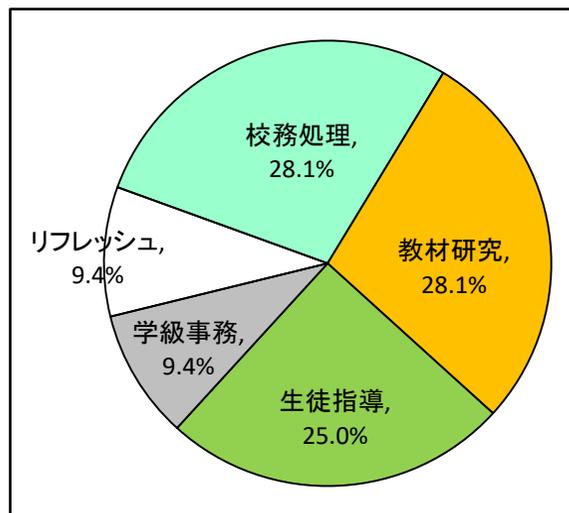
※平一中、小名浜二中については、令和元年度から新任顧問になるなど比較の条件不一致

	H30年度	R元年度	差
4月	84	61	▲ 23
5月	71	53	▲ 19
6月	70	55	▲ 15
7月	62	39	▲ 23
計	287	208	▲ 80

#### 【部活動指導員の導入効果（配置校へのアンケートによる）】

- ①生徒への部活動指導の充実
- ②顧問教員の負担軽減と、教科指導等の、本来的な業務への注力

【部活動指導員の活用により、顧問教員が部活動の指導に当たらない時間の活用状況】

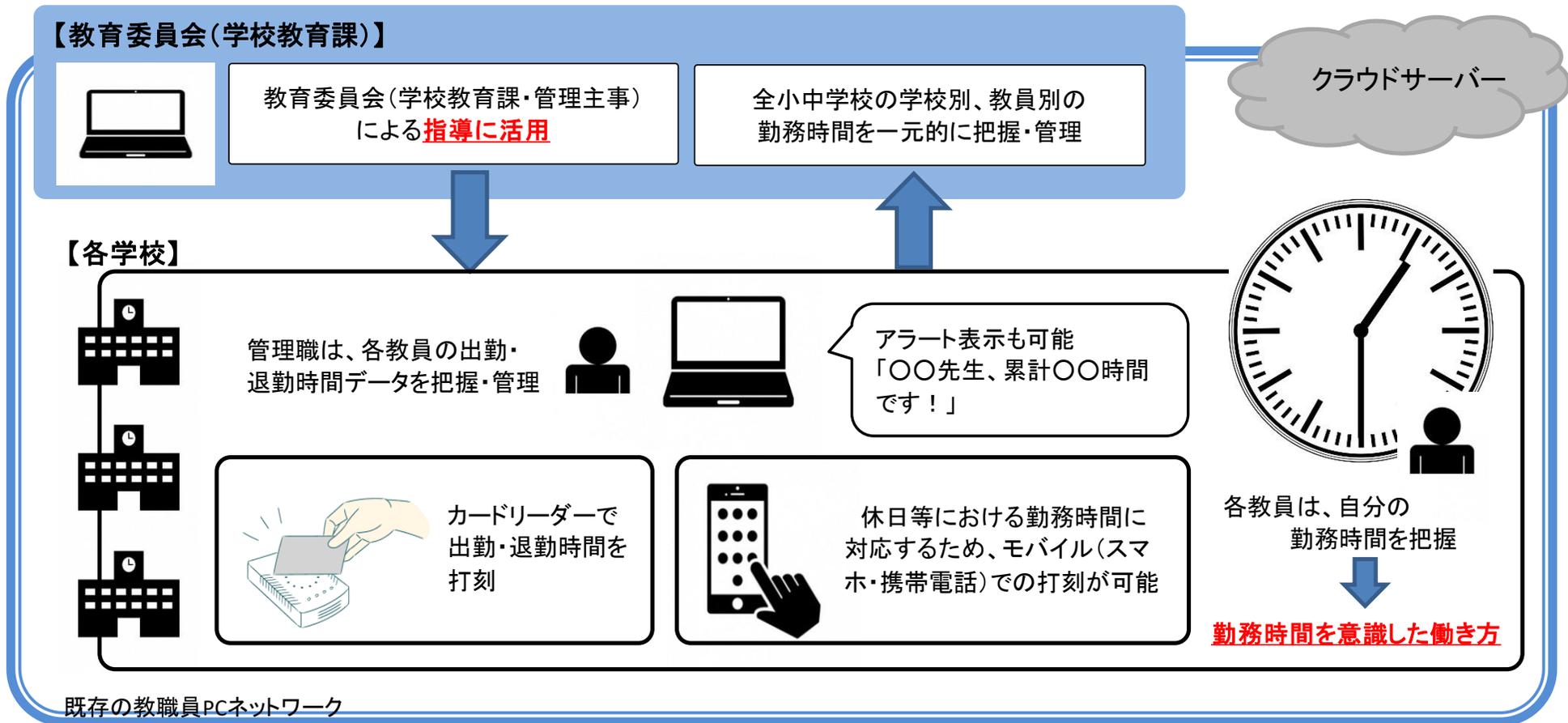


今後の取組み(予定)

部活動指導員の配置校拡大を含めた、効果的な制度運用に向けた効果検証及びその他の検討

## 4. 令和元年度における市教育委員会の取組み ～出退勤管理システムの導入について～

【出退勤管理システムの導入】(令和元年6月より導入、7月より全面稼働)



今後の取組み(予定)

客観的な勤務時間の把握・管理を行い、今後の働き方改革に係る各種施策の効果検証を行う上で、基礎的かつ有用なデータとして活用

【7月における超過勤務時間80時間以上の件数】

平成30年7月:88人 ⇒ 令和元年7月:66人(▲22人)

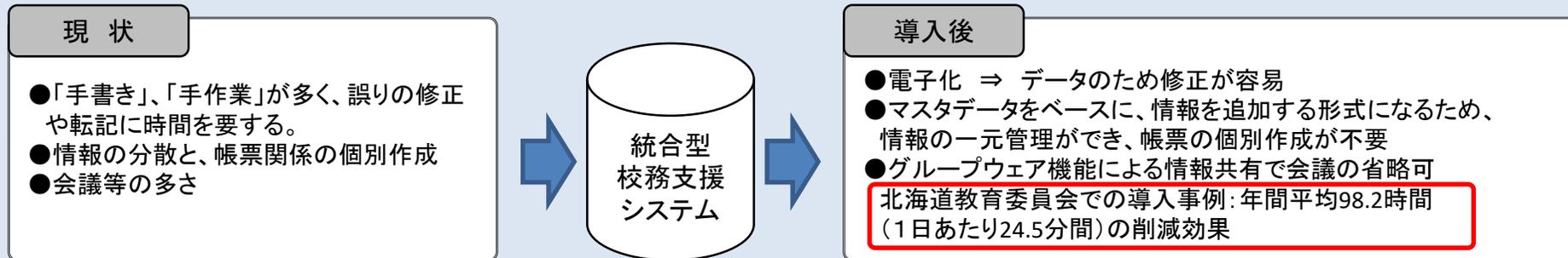
## 5. 令和元年度における市教育委員会の取組み ～統合型校務支援システム導入検討について～

### 【福島県の推奨版統合型校務支援システムの決定】（令和元年7月10日）

- ・ 令和元年5月22日、福島県は県内市町村への推奨版統合型校務支援システムを選定するためプロポーザルを実施
- ・ 令和元年7月10日開催の第3回市町村立学校統合型校務支援システムの在り方検討協議会において福島県としての推奨システムを決定

### 【統合型校務支援システムとは】

- 教務（成績処理、出欠管理、時数等）
- 保健（健康診断票、保健室管理等）
- 指導要録（在学する児童生徒の学習、行動、健康の記録として作成するもの）・・・等の学籍、学校事務等の機能を統合したシステム



◆ 教員の異動が県域単位で行われること等を踏まえると、教員の業務負担軽減に向けては、**県内統一の統合型校務支援システムの導入推進が効果的**

### 今後の取組み（予定）

福島県推奨版のシステム導入につき検討開始

令和3年度からの導入を念頭に、関係部署との調整など所要の対応を行う。

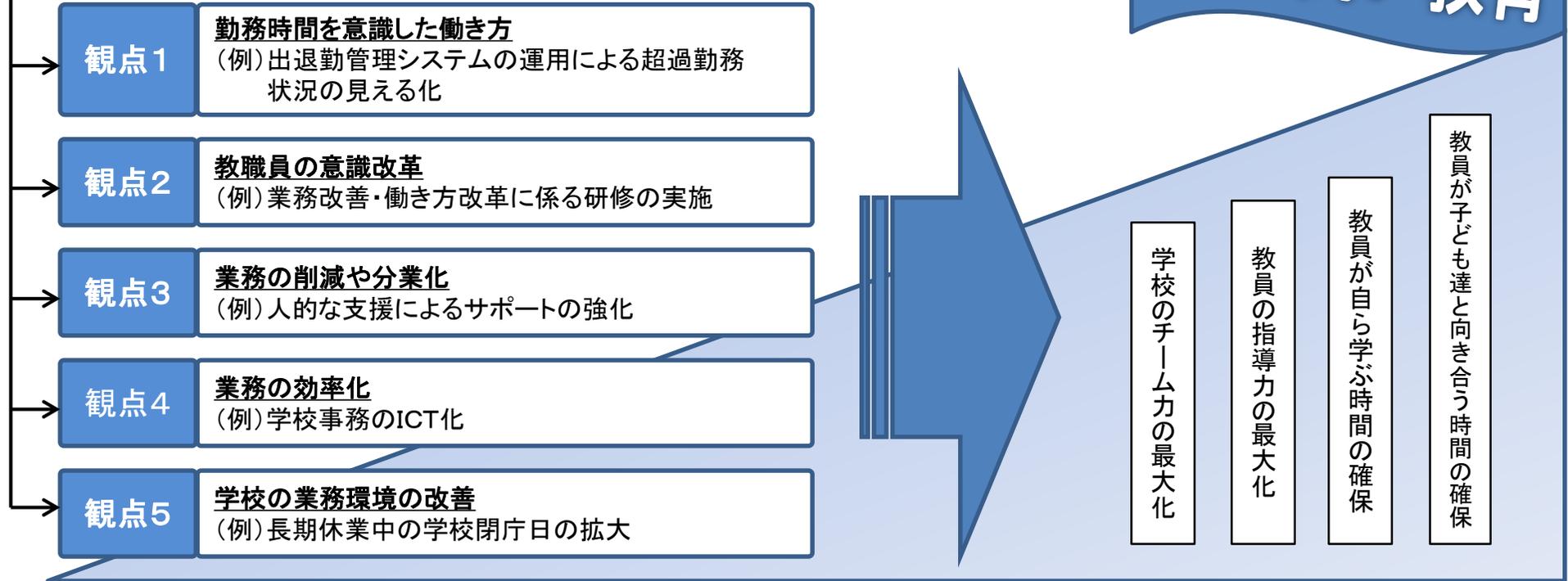
児童生徒の通知表や指導要録など、**機微な情報を電子データで扱うこととなるため、安全なネットワーク環境の構築へ向けた検討が併せて必要になる。**

## 6. 令和元年度における市教育委員会の取組み ～(仮称)いわき市教職員サポートプランについて～

### 【(仮称)いわき市教職員サポートプラン】

教職員の働き方改革を推進するにあたり、市教育委員会として各学校に対し、業務改善のための方針として、次の5つの観点に基づく具体的な取組を示すものとして策定するもの。

質の高い教育



今後の取組み(予定) ○ 内容について更なる精査を行い、令和元年度中に策定

#### 【策定スケジュール】

5月～9月  
策定に当たっての観点(柱立て)の設定

プラン概要及び本編策定

3月  
プラン決定・公表